

青葉の森公園芸術文化ホール  
イベントレポート  
EVENT REPORT

当ホール主催の公演・講座の雰囲気  
みなさまに発信する  
「サポーターライターズ」の方による  
レポートをお届けします。

デビュー40周年記念  
渡辺真知子  
コンサート  
～私は忘れない～

平成30年  
4月28日  
[土]  
開演 16:00

出演 渡辺 真知子  
ピアノ 石塚 まみ  
ベース コモブチ キイチロウ  
ドラム 加納 樹麻  
パーカッション 岡部 洋一  
バイオリン 佐久間 大和  
ギター 馬場 孝喜



渡

渡辺真知子さんとい  
えば、『かもめが翔  
んだ日』、『迷い道』、  
『ブルー』など昭和50年代に  
流行ったヒット曲を思い出す。  
歌謡曲全盛だったあの頃、テレ  
ビからよく流れていたのを私も  
覚えている。

デビューから40周年を迎え、  
また、昨年還暦を迎えたとい  
うが、豊かな声量、綺麗な  
高音はちつとも変わらず、2  
時間で20曲を力強く歌い上げ、  
MCも自身でこなした。彼女  
と同じくらいの年代の観客で  
ほぼ満席。時に手拍子したり  
一緒に歌ったり、アンコールでは  
総立ちの盛り上がりであった。  
印象に残ったのは彼女の母親  
の話。生涯一度だけ、大正生  
まれの頑固な夫から「苦労を  
かけた」という労いの言葉を  
聞き感動し、思わず出た母親  
の言葉が「ここがどこでもいい、  
私は(夫といられる)ここが  
好き、私は忘れない」。この「私  
は忘れない」というフレーズが  
今回のコンサートのテーマにも  
なっているようだ。



写真/サポーター(カメラマン)  
田邊 定行

20代で華々しくデビューして  
も60年生きてきた間にはいろい  
ろなことがあったと思う。それ  
でも歌い続けてこられたことの  
感謝を皆に伝えたい、そんな気  
持ちは溢れたコンサートだった。  
今回初めて知ったのだが、多  
くの楽曲は自身で作詞・作曲  
しているという。ジャンルも歌  
謡曲、ラテン、ジャズ・・・と  
幅広く、才能の広さを感じた。  
また、ピアノの石塚まみさん(編  
曲も手掛けているらしい)はじ  
め、バイオリン、ベース、ドラム、  
パーカッション、ギターという構  
成のバックメンバー、「かもめフ  
ライヤーズ」の伴奏もぴったり  
息が合いよかった。生の歌と演  
奏で初めて聴く「かもめが翔  
んだ日」は、それはそれは素  
晴らしかった。「ハーバーライ  
トが朝日に変わる」というあ  
のイントロを聴いたときは思わ  
ず涙が出そうになった。

な

つかしい。この  
言葉がぴったり  
な「デビュー40  
周年記念 渡辺真知子コンサ  
ート」に行きました。シンガー  
ソングライターとして活躍され、  
昨年11月でデビュー四十周年。  
ここまで歌い続けてこられたこ  
とは本当に素晴らしいの一言に  
尽きます。『迷い道』でデビュー、  
『かもめが翔んだ日』『ブルー』  
『唇よ、熱く君を語れ』など  
数々のヒット曲を出し、ベスト  
テン番組の常連でした。抜群  
の歌唱力でダイナミックに歌い  
上げる舞台は、今でも観客に  
パワーを与えてくださる素敵  
な世界でした。

コンサートは二部構成、薄明  
りの中を伴奏者6人が演奏場  
所につきます。ブルーの衣装に  
身を包んだ渡辺さんがゆったり  
と登場し、一曲目の『海につれ  
ていって』を歌い上げます。歌  
謡曲のコンサートでは照明の美  
しさが必要不可欠。スポット  
ライトの動きや色の変化がス  
テージ全体を盛り上げ、観客  
をひきつけます。曲と曲の間の  
MCも楽しく、いろいろなエピ  
ソードを交え、それが曲作り  
に生かされている様子がよくわ  
かりました。また曲作りは大  
変な作業のようで、「仕事が終  
わり、曲を作りと、この繰り返しで今日まで来てしまいま  
した。」と笑顔で話されていま  
した。一部最後の『花束をありが  
とう』はバンドの方も一緒に歌い、  
心に響く感動的な二曲でした。  
休憩をはさみ、還暦記念の  
曲『ときの華』、新境地を開  
こうとほかの作曲家の作品『太  
陽のカーリア』、観客のリクエ  
スト曲『ボラーレ』、独特のア  
レンジでの『川の流れのように』  
など、魅力あるコンサートにし  
ようとする出演者の意気込み  
を感じました。かもめフライ  
ヤーズと命名されたサポートバ  
ンドとともに披露した『かも  
めが翔んだ日』は若かりし頃  
に何度も聞いた曲そのままに。  
なつかしく、わくわくしまし  
た。立つて応援している方もい  
て会場がどんどん盛り上がっ  
ていくのがよくわかりました。  
アンコール曲『唇よ、熱く君を  
語れ』も会場全員で歌い踊り  
：素敵なコンサートは終わって  
しまいました。  
そのあとの握手会ではたく  
さんの方が並び、カモメ姿のフ  
ァンの方もびびくりしました。  
これからお元気で長く歌  
い続けてくださるよう陰なが  
ら応援しています。  
サポーター(ライターズ)なのはな